# 情報処理軽井沢セミナーに参加して

広島大学 技術センター
情報メディア教育研究センター等部門 技術斑 技術員
中川 敦

1.課題タイトル：
CD 貸出業務と PKI

2.概要：
複数の研究室からなる講座内で行っている CD 貸出業務に PKI の技術を導入することを考えた。その技術によって実現される否認防止機能と署名機能により、該当業務において個人を認証する精度の向上が期待できる。

3.発表内容：
講座に MSDN の CD が毎月届く。講座の構成員が希望すればこの CD を貸し出している。今回この貸出業務に PKI の技術を利用することを考えた。
前提：
構成員へハードウェアトークンを配布できていること
ハードウェアトークンと通信できる認証用機械が設置されていること
貸出簿が電子化されていること
方法：
構成員かどうかのチェックをハードウェアトークンにて行う
貸出時、構成員の署名付きの「借りました」ファイルを作る
返却時、管理人の署名付きの「受け取りました」ファイルを作る
利点：
顔の似ている構成員と非構成員とを区別することができる
借りた事実を否認されない
欠点：
ハードウェアトークンを紛失されると弱る
展望：
PKI を導入するには当業務のみでは小規模すぎていささか現実的ではないが、将来全学認証システムとして PKI が導入されるならば、その導入に先だって実験を行うにはちょうど良い規模なのではないかと考えている。

4.セミナーで学んだ知識：
PKI 関連技術解説(情報セキュリティ技術ラボラトリー)
http://www.ipa.go.jp/security/pki/index.html

PKI に関する技術の知識を得る事ができる。

5.セミナーに向けて準備した方がよいもの：
課題発表があるのでプレゼンテーションツールが必要になる。

6.感想：
適度な緊張感の漂うセミナーであった。PKI の技術について非常に丁寧に説明して頂けたのでとてもわかりやすかった。また講義だけではイメージしにくい部分を実習で実際に操作してみることで頭の中を整理することができ、理解の助けになった。

ネット社会は相手の顔が見えない為、個人認証は現実社会のそれよりもより一層厳格なものになっていると感じた。
軽井沢は空気が大層おいしく、課題に詰まった時には研修所の回りを散歩するだけで随分と気分転換になった。
素晴らしい環境を用意してくださったスタッフ・講師の方々、またとても良い雰囲気を作り上げてくださった他受講者の皆様に感謝いたします。